

GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork

| | | | | | | | |
|----------------------------|----------------------------|-----|------------------------------|----|-----|-----|------|
| 授業コード (科目ナンバリング コード) | 48K01-003 (GG-GNL-3131) | 科目名 | GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork3 | | | 担当者 | 森泉 哲 |
| 開講期間 | Q 2 (集中) | 単位数 | 3 | 学年 | 3~4 | 指定 | 選 |
| 履修対象学科 | | | | | | | |
| 他学科履修 | 不可 | | | | | | |
| 他の科目との関連 | | | | | | | |

[閉じる](#)

【副題】

GLSフィールドワーク / GLS Fieldwork (フィリピン / Philippines)

【授業概要】

本授業は、演習と実習形式で行われる。

「GLSフィールドワーク」ではこれまでの国際教養学の学びを実際の社会でどう活用するのかを検討することを目的とする。そのために、実際に日本国内外の現地に1か月ほど滞在し、現地の人々との関わりながら種々の実習を通して、国際教養学の知がどのように実践できるのかを考察を深める。事前・事後指導と実際のフィールドワークを通して、自らのテーマを設定した内容について、観察や体験を通して分析・調査し、それを報告書にまとめる。

本プログラムは、フィリピン共和国セブのサンカルロス大学がホスト校となり、セブ市内のフィールドワークを行う。

【到達目標】

1. フィリピンの文化と社会についての理解を深めることができる。
2. サービス・ラーニングを通して、現地のコミュニティについて理解し、課題に対して行動することができる。
3. フィールドワークの学びを報告書にまとめることができる。

【授業計画】

1. 事前指導
2. フィリピンでの実習
 - フィリピン文化・社会の講義
 - セブ語の学習
 - 現地コミュニティ内の課題に関するインタビュー調査
 - 現地の人々との交流
 - グローバル企業訪問・観察・聞き取り調査
3. 事後指導

【授業時間外の学習（準備学習等）】

セブ語の学習では、授業の予習・復習を行うこと（毎日1時間程度）。現地へのインタビュー調査では、インタビュー前には質問項目を作成し、インタビュー終了後には、ノートを整理しておくこと。

【評価方法】

事前・事後指導、プログラム参加度 30%、報告書70%

【テキスト／参考文献】

【その他】

【添付ファイル1】

【添付ファイル2】

【添付ファイル3】

【リンク】